

令和5年度 日南病院 新しい病院づくりアンケート集計結果

R5.8.18 現在

実施期間	令和5年7月13日発送 ~ 令和5年8月4日投函締め切り(8/18到着分まで)	
目的	新病院建設に向け、日南病院が提供する医療サービスに対する町民の要望等を把握、検討するため	
	区分	
対象者	今回調査 町内全世帯	※前回(H28)調査 町内全世帯
発送数	1,882 通(世帯)	1963 通(世帯)
発送後除外数(死亡、宛先不在等)	23 通(世帯)	-
除外後対象数	1,859 通(世帯)	1963 通(世帯)
アンケート対象者回収数	810 通(世帯)	462 通(世帯)
回収率	43.57 %	23.54 %

(解説)

今回の町民アンケート対象者は、前回同様町内全世帯に1つのアンケート調査票を記入していただくこととしました。
 対象世帯は81世帯(4.1%)減少しましたが、回答数は348通増加し、回答率も43.57%と約20ポイント以上上がりました。新たな病院建設という課題を含むアンケートということで町民の皆さんの関心も高く、回答率の向上につながったと思われます。
 しかし、約4割という回答率は決して高くなく、病院にかかられない世代の関心度や高齢化による回答困難者の増加等が考えられます。世帯人数別の回答率をみると、特に単身世帯の回答率が29.2%と平均より大幅に低く、独居高齢者の方にはアンケートの記入やポストへの投函が困難な方もおられたと推察します。

◎アンケート回答者の基礎項目

問1) 年齢構成

(解説)

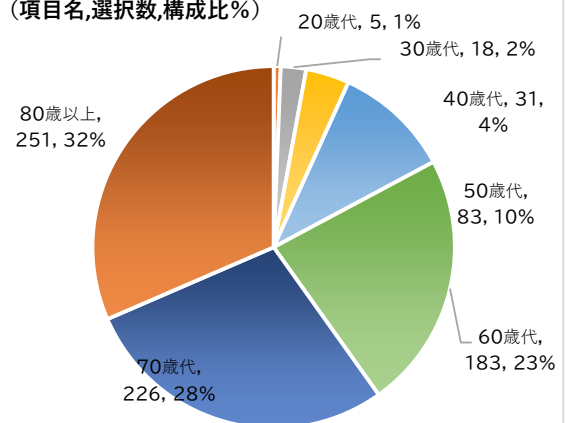
今回の町民アンケートは、世帯単位(世帯主)を対象としているため、回答者の年齢層は総じて高くなっており、60歳以上の割合が83%でした。(前回87%)

一方で、50歳代以下の若年層の回答構成比率は前回を4ポイント上回りました。
 今回のアンケートへの若年層の関心度は前回よりも高くなっており、普段日常的に病院受診される機会が少ない若年層の方も、新病院の建設に関心を持たれていることが表れており、今後の病院のあり方に対する考え方を問う良い機会ととらえています。

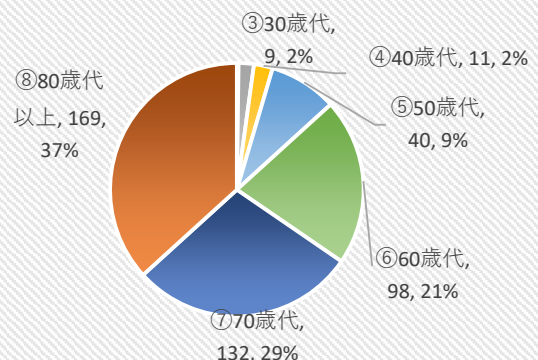
※グラフ内の表記は、項目名、選択数、構成比%(例:60歳代,98,21%)としています。

回答者年齢(今回)

(項目名,選択数,構成比%)



回答者の年齢 (H28)

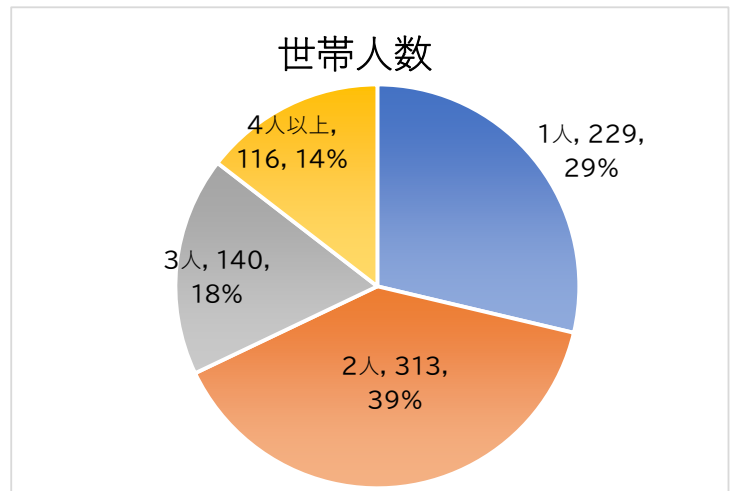


問2) 世帯人数

(解説)

回答世帯の世帯人数別構成比は2人世帯が39%と一番多く、続いて1人世帯が29%、3人世帯18%、4人以上世帯が14%の順となっています。

世帯人数別の回答率をみると、2人世帯で56.0%、3人世帯で55.1%、4人以上世帯で40.8%に対して、特に世帯構成比で41.7%を占める単身世帯の回答率が29.2%と低く、独居高齢者の方がアンケートへの記入やポストへの投函がしにくかったことも考えられ、回答率をが伸び悩んだ一因となったと推察します。



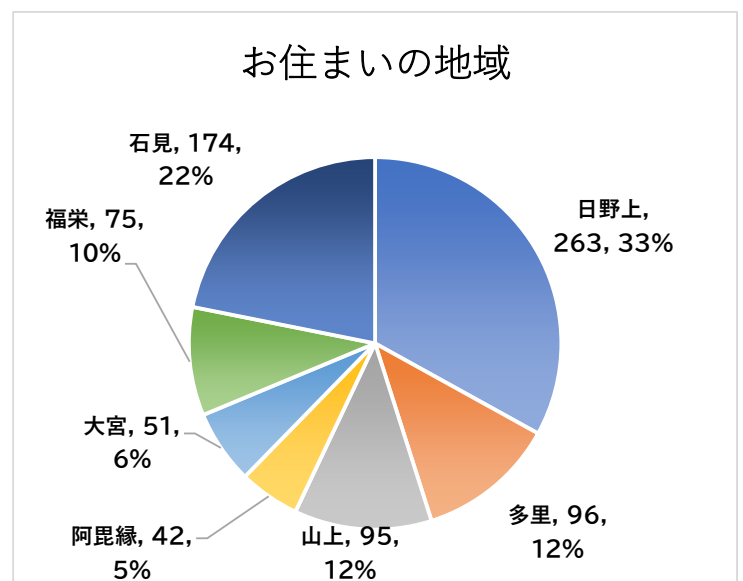
世帯人数区分	世帯数	構成比	回答世帯数	世帯人数別回答率
1人	785	41.7%	229	29.2%
2人	559	29.7%	313	56.0%
3人	254	13.5%	140	55.1%
4人以上	284	15.1%	116	40.8%
合計	1,882	100.0%	798	42.4%

問3) 居住地域

(解説)

旧中学校区で構成する町内7つの地域別の回答数と構成比率は右図のとおりです。

各地域ごとの回答率の詳細は示しませんが、各地域ともに36%~45%の回答率となっており、地域によって回答率に大きな差はありませんでした。



◎病院建築に係る項目

問4) 新築計画への賛否について

(解説)

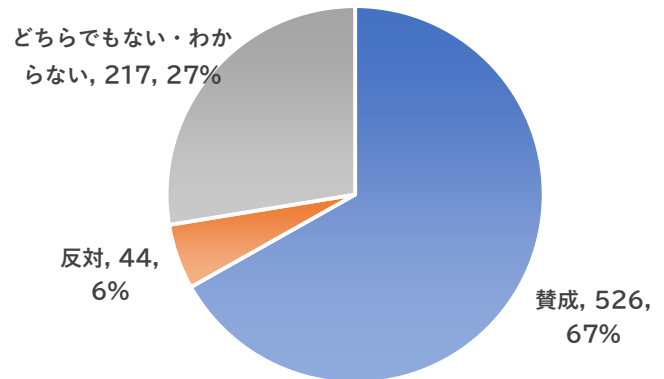
病院の建て替え計画に対する賛否を伺いました。

建て替えの計画の内容が分からない中で、答えられないというご意見も一定数(27%)ありましたが、老朽化による建て替えには、67%の方が「賛成」の意見でした。

一方、6%の方が「反対」という結果でした。

下に賛成、反対それぞれの記入いただいた主な理由をまとめました。

建て替えの賛否



(賛成される理由:主なもの)

- ・地域になくなくてはならない病院です。高齢化が進み、車の免許も持たない人が増える今、地元の医療が必要です。
- ・新しい病院ができる事で、新体制のもと、多種多様な病状に対応できる医療体制の充実を図っていただきたい。
- ・人口流出をくい止めたり、高齢化、過疎化の日南町でこそ医療の確保を行い子供から高齢者まで安心して住みたい。
- ・現在の病院内では手狭で診療にも時間がかかる。しかも駐車場にも職員及び一般患者にも大変苦労している。総合的に考えて移転新築すべきである。

(反対される理由:主なもの)

- ・新築より最新の機器を搬入するより、まず人材の向上！
- ・現状から、過疎化、少子高齢化の流れは今後もっと進み、日南町は人口2千人台となるでしょう。赤字となるなら医療機関は統合して充実した設備と優秀なスタッフで対応すべき。
- ・人口減少により規模を小さくしてもお金がかかる、収益が見込まれないのに新しく建てることはないと思う。
- ・日野病院があるので、今更大きな物を建てる必要を感じない。診療所程度で良い。例えば江尾診療所のように充実した物なら良い。

(どちらでもない・わからない理由:主なもの)

- ・少子高齢化が進む中、どうしたらいいのかわからない
- ・どのような医療を目指すのか、提供するのかを決めることが先かなと思います
- ・老朽化の程度によっては修繕工事でも良いのではないのでしょうか
- ・財政のことを考えると、簡単に賛成とは言えません。また新築計画の内容も分からないままのアンケートは答えようがありません。
- ・日南町は人口が少なくなっている。10年後には3,000人以下になる勢いです。新築は有難いのですが工事費が調達できるのか、返済できるのか、財政が心配です。

問5) 新病院に希望する診療科

(選択は5つまで)

(解説)

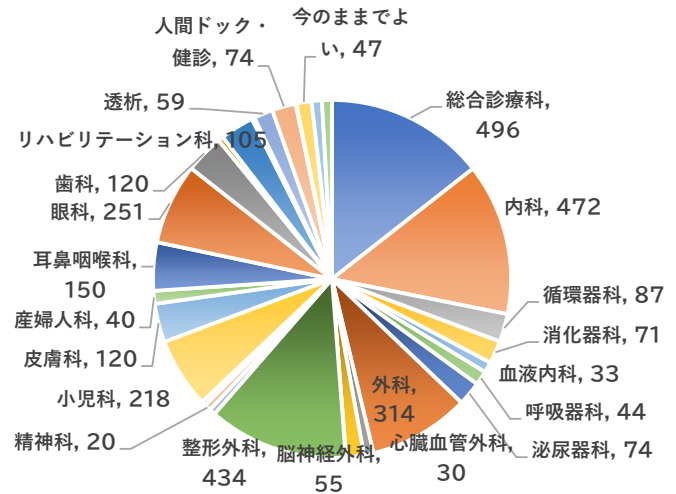
新しい病院にあつたらよいと希望される診療科を伺いました。(設置できるかどうかではなく、受診科ニーズを把握するために5つに絞って選んでいただきました。)

総合診療科を希望される意見が496と一番多く、現在、日南病院が目指す総合診療科への理解が進んでいることがわかりました。

また、現に標榜している科に加え、内科系専門科や歯科、透析、泌尿器科へのニーズが見られます。また、人間ドック・健診の充実を望む声も少なからずあり、総合診療科体制の中での予防医療への取り組みに対する期待も現れていると推察します。

希望する診療科

表記は項目名,選択数



(その他主な自由記載)

- ・全般的な診療による定期投薬や、当院にはない診療科の他専門医への紹介や、搬送手続きなど、最低限治療、高齢者への在宅診療に特化すべき。
- ・日野病院との役割分担を行い効率よく運営してほしい
- ・看取りの病棟を作って欲しい。
- ・歯科はぜひとも、現在の歯科医院が一軒で1か月1回しか治療が受けられない。歯科医さんも休日は往診で休みもない。医大から派遣で週3日でも良いので是非歯科を願いたい。施設の往診は医大からも派遣してもらおうとかの方法もあるか

問6) 新病院のサービス・機能

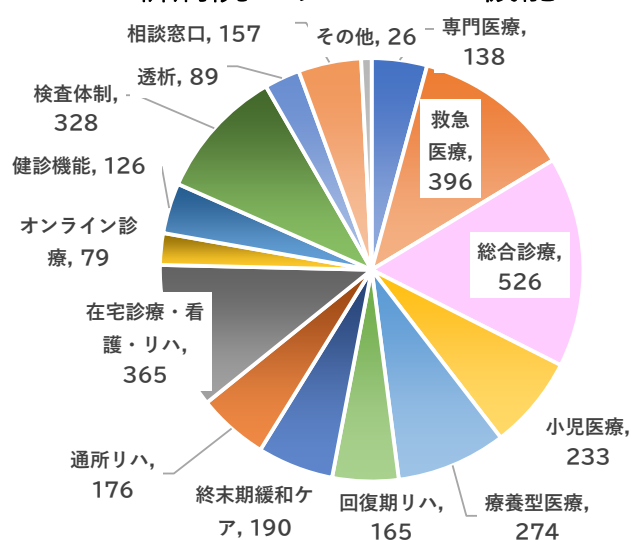
(選択は5つまで)

(解説)

新病院に期待する機能・サービスについて伺いました。

- ・ここでも総合診療に対する理解、期待感が見えます。
- ・救急告示病院としての役割や、在宅への診療・看護・リハビリテーション継続のニーズも高い。
- ・小児医療の充実に期待する声も多い。
- ・高性能の検査機器を含む検査体制の充実を望む声も多い。
- ・療養期のベッド確保や回復期リハビリ、通所リハ機能へのニーズも多い。

新病院のサービス・機能



(その他主な自由記載)

- ・訪問看護やリハビリ事業に力を入れてほしい
- ・専門的な治療などは米子市内の大きな病院で、日南病院はその後のリハビリや現在のような訪問医療、緩和ケア、又は普段の健康維持管理のための血圧、コレステロールなど生活習慣病の定期的な受診
- ・安心して受診できる医師の常駐、技術・能力が優秀な医師の常駐
- ・遠隔医療(インターネットを通じた血圧検査等の状況が確認できれば、往診負担が軽減されるのではないかと)

問7) 総合診療科に重要な機能

(選択は5つまで)

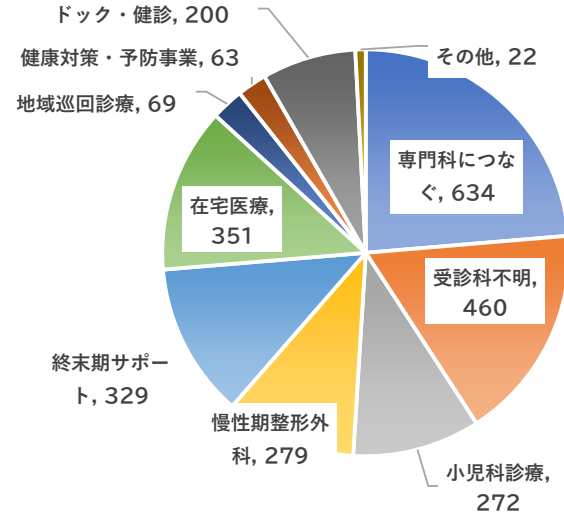
(解説)

当院が目指す総合診療科に求める機能を伺いました。

- ・専門科にしっかりつなぐ適切な初期診断への期待度は高い。
- ・どこにかかってよいか分からないときに、専門科を特定せずに診療・診断できるメリットも理解いただいています。
- ・小児科の初期診断や整形外科慢性期診療などへの理解とニーズも見られます。
- ・終末期や在宅医療へのきめ細やかなサポートへの期待も大きい。
- ・健康教室やドック・健診など予防医療への期待も見えてきます。

総じて総合診療科(医)への理解と期待が利用者に浸透していることが見えてきました。

総合診療科に重要な機能



(その他主な自由記載)

- ・日南病院に行けば何とかしてくれる、という町民のよりどころとなる信頼
- ・フレイルになる前の予防事業として講演や地域のヘルスケアをしてほしい
- ・検査体制の充実を図り適正な初期診断を行い、高度医療が必要な場合は直ちに紹介する連携システムづくり
- ・健康でいられるためのヘルスケアも重要ではないか

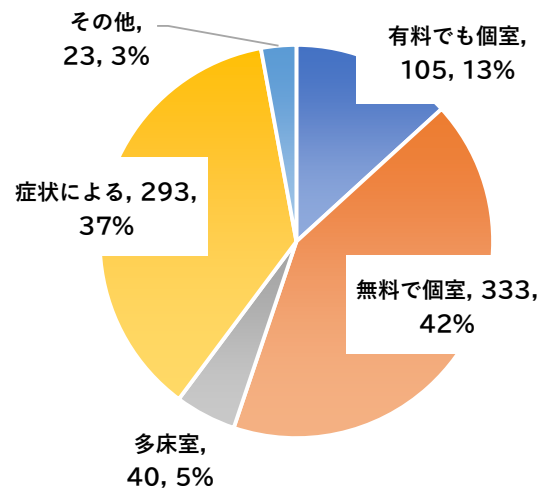
問8) 全室個室化について

(解説)

日南病院が検討している全室個室化についてご意見を伺いました。

- ・「有料でも個室」「無料で個室」を合わせて**55%の方が個室化を望まれました。**
- ・一方、症状によって使い分ける方が37%ありました。
- ・無償でも多床室を望まれる方は5%とわずかったです。

全室個室化について



(その他主な自由記載)

- ・多床の方が安心するお年寄りもいるかもしれません。個人的には有料個室で問題ないが利用の多い高齢者の負担を考えると無料が良いと思う。
- ・プライバシーの件もありますがみんなと色々なことを話すのもリハビリになると思うのでケースバイケースで良いと思う
- ・シャワー、トイレ、空調がありは有料、設備無しの場合無料を希望します。

問9) 病院の立地条件

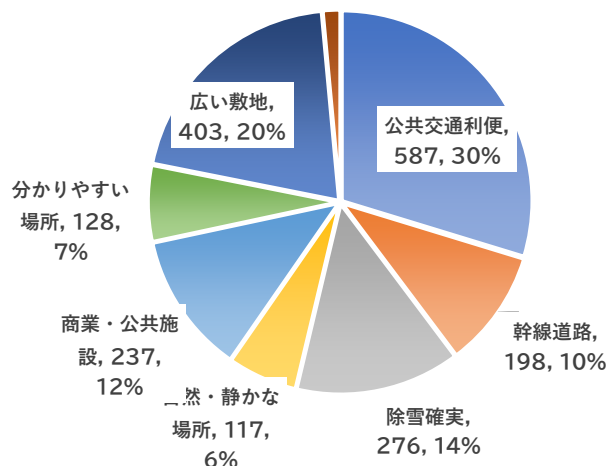
(選択は3つまで)

(解説)

新しい病院に必要な立地条件について伺いました。

- ・公共交通を使つての通院利便性を需要視されています。
- ・現状の敷地の狭さから、駐車場を含め「広い敷地」を重要視されています。
- ・幹線道路に面していることや冬場の通院の除雪対策の重視も、現敷地の坂道進入路からの改善に期待感がある。
- ・買い物や用事を効率よく済ませるために商業施設・公共施設への近さにもニーズは多い。
- ・その他の記載では、災害リスクを避けられる立地への意見が多かった。

病院の立地条件



(その他主な自由記載)

- ・災害が想定されない場所(土石流、増水、土砂崩れ)、防災ヘリの飛行の妨げにならない場所
- ・本当は中心となるような公共施設などがある場所が良いと思うが、土地の問題や取得費用などもあるだろうし、そこにもしお金をかけるなら、設備にお金をかけた方が良い。
- ・中心市街地辺りが良いと思う「コンパクトシティ」の理念からも
- ・交通の便が良くて、平地で閑静なところが良い

問10) 併設希望の機能

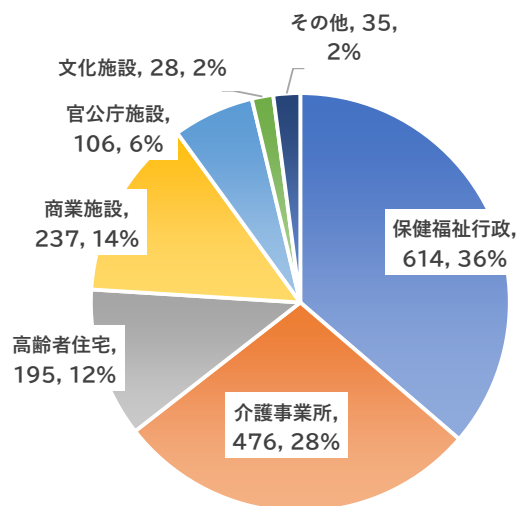
(選択は3つまで)

(解説)

病院と一緒にあると便利な機能について伺いました。

- ・地域包括ケアシステムの推進を意識した、現在の福祉保健課(行政部門)併設のニーズは高い。
- ・介護サービス事業所、高齢者住宅など高齢者が医療サービスを受ける利便性も重要視されている。
- ・商業施設(売店、レストラン含む)のほかATMやコンビニの併設を望む声も多い。

併設希望の機能



その他併設希望の主なもの

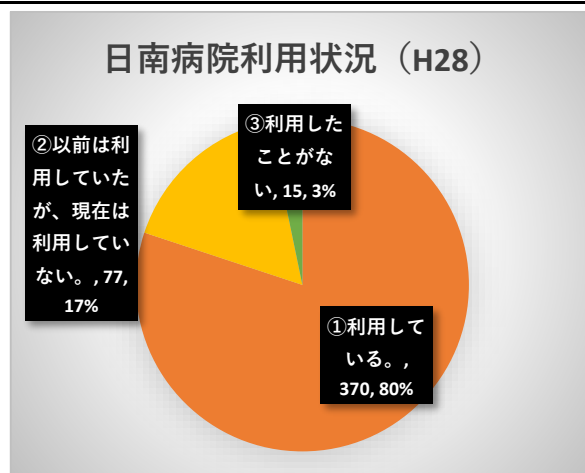
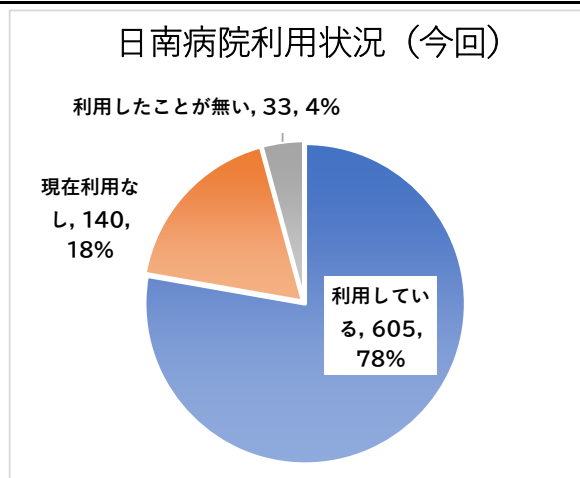
院内売店・食堂	6	薬局	3	公園	1
ジムなど	5	飲食店	3	介護施設	1
地域包括	5	託児所	2	消防署	1
ATM	4	買い物	1	宿泊施設	1

問11) 現在の日南病院利用状況

(解説)

回答いただいた方の当院利用状況を伺いました。経年比較ができるよう、平成28年実施のアンケートと同じ質問としました。

結果は、約8割が当院を「利用されている方」からの回答という結果となり、「現在は利用していない方」、「利用したことが無い方」の比率もほぼ同様の結果となりました。



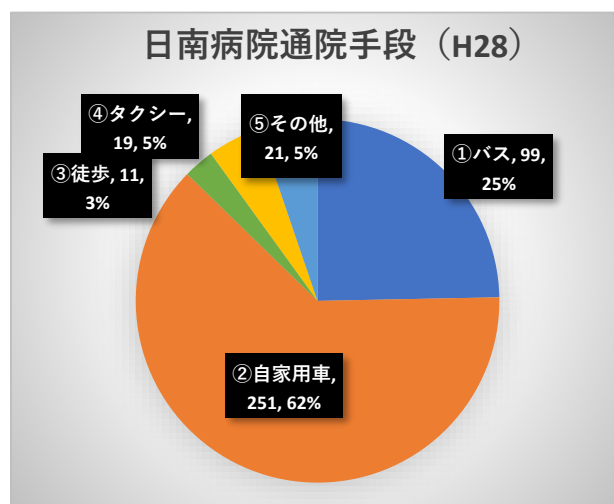
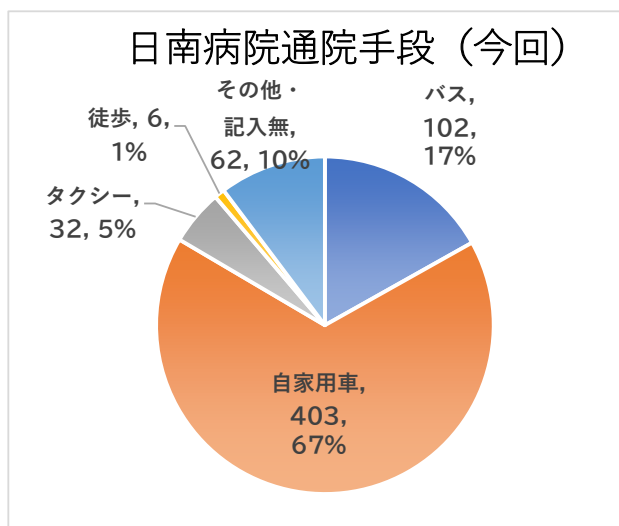
問11-2) 日南病院への通院手段

(解説)

当院を利用されている方の通院手段を伺いました。平成28年度と同じ質問としました。

自家用車で通院される方の割合が67%、約3分の2と、前回(62%)より4ポイント増加しました。運転免許を持たれている方の割合が増加しており、米子を含む他院への受診も可能な方が増加しているとも読み取れます。

一方でバス利用者は17%と前回より8ポイント減っており、大切な公共交通機関であるバスですが、利用率は減ってきていると思われます。タクシーの利用も変わらず一定割合(5%)はあります。



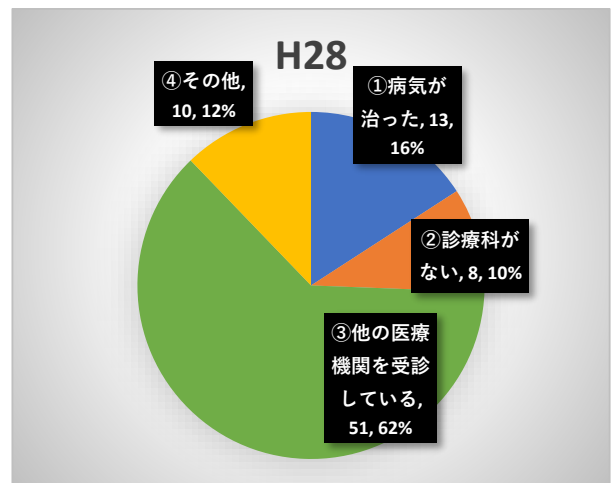
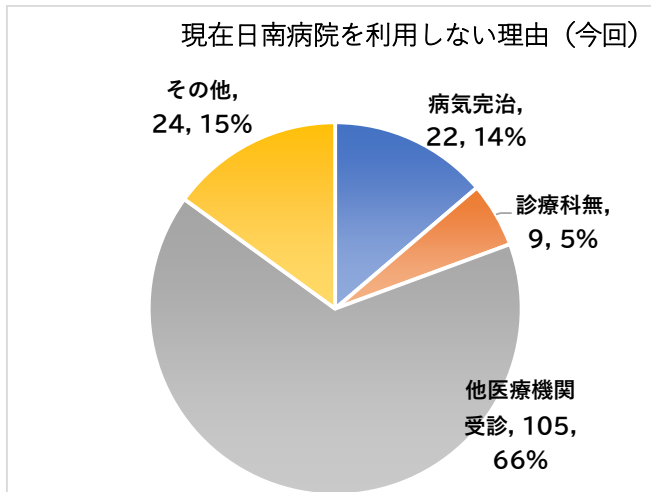
問12) 現在日南病院を利用していない理由

(解説)

以前は日南病院を利用していたが、現在は利用していない方にその理由を伺いました。

他の医療機関を利用している方が66%と前回(62%)を3ポイント上回っている。

自家用車で通院できる方の増加や、休日・夜間など仕事のお休みの日での受診ニーズ、希望受診科が毎日開設されている病院へのニーズ、より専門性の高い受診科へのニーズ等、医療ニーズの多様化が進んでいると推測できます。

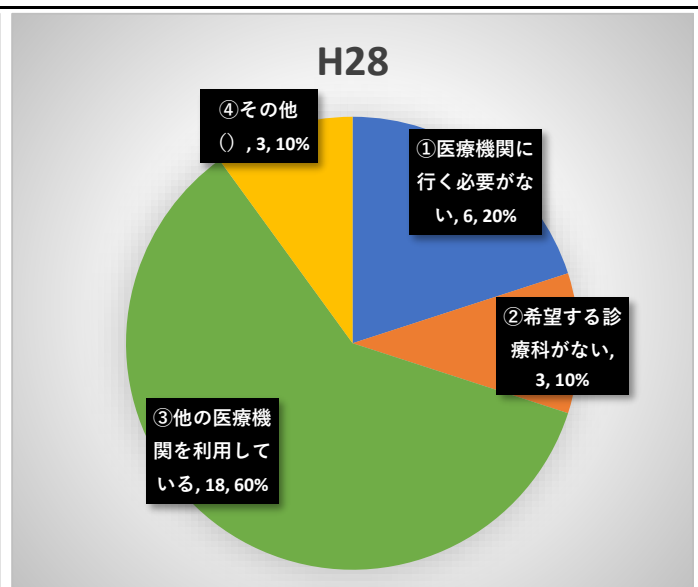
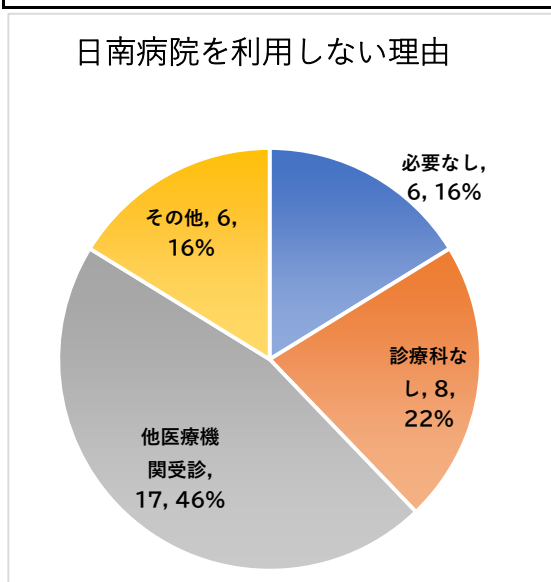


問13) 日南病院を利用しない理由

(解説)

日南病院を利用したことがない方に、利用されない理由を伺いました。

母数が少ないため明らかな傾向はつかめませんが、他医療機関を受診されているという理由が多い傾向にある。また、「希望される診療科がない」という方の比率が上がっているため、これは他院受診につながる理由と考えられます。



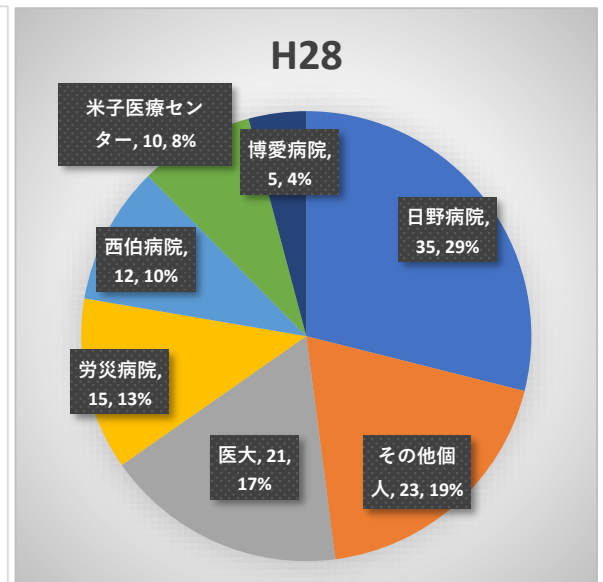
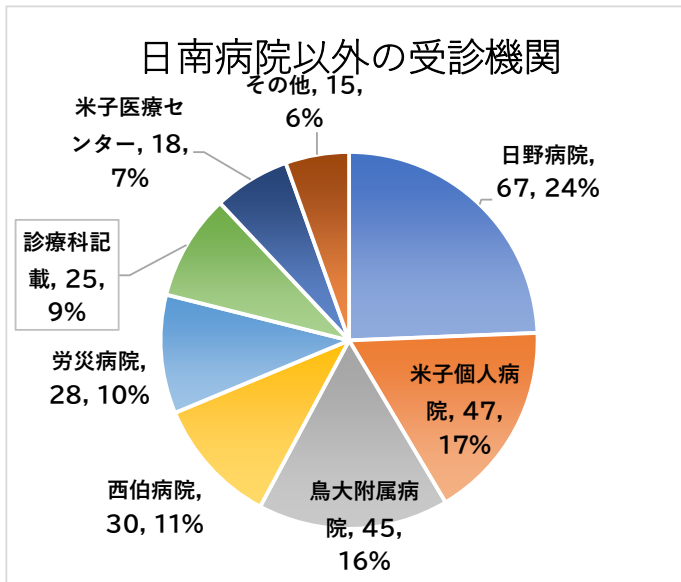
問14) 日南病院以外の受診医療機関

(解説)

日南病院を現在利用されていない方、利用したことがない方で、「他医療機関を受診している」と答えた方に、受診医療機関名を伺いました。

一番多いのは日野病院(67名、24%)、鳥取大学附属病院(45名、16%)、西伯病院(30名、11%)、労災病院(28名、10%)となっており、47名、17%の方は米子近辺の個人病院を受診されています。

H28調査結果と比較しても、回答者数は増えているが他受診機関の比率に大きな違いはなく、同様な傾向がみられます。



問15) 他の医療機関受診をする理由

(解説)

他の医療機関を受診する理由としては、「希望する受診科がある」「他の医療機関からの紹介」「診療内容が良い」「診てほしい医師がいる」が多く、持病への専門的なかかりつけ医があって通われているケース、日南病院を含む他の医療機関からの紹介で受診を続けられているケースなどが考えられます。

